

書類作成上の注意点

畜産クラスター協議会名 (都道府県)	〇〇畜産クラスター協議会 ( 〇〇県 )
-----------------------	----------------------

○優先順位の考え方(どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入してください。)

※どのような視点から協議会内の優先順位を決定したのか記入

補助金額は機械価格Aの  
1/2以内となるよう  
記載してください。

優先順位 ※1	事業区分 ※2	施設整備との一体性 ※3		所属 (農協等)	中心的経営体 確認※4	取組主体等名 ※5	貸付主体から借受を行う場合の 取組主体について		取組主体 要件※6	飼養区分 ※7	貸付対象機械装置			機械装置導入の妥当性等の確 認※9		機械装置価格、補助金等				クラスター計画の テーマ番号※12 (成果目標)	成果目標の種類※ 13 (1~3) 1 コスト削減効果 2 販売額増加効果 3 飼料自給率向上効果	成果目標値 (増加率(%)) ※14	
		活用 事業	整備時期・内 容				氏名	所在地			機械装置の区分 ※8	機械装置名	数量	規模・ 数量 ※10	既存の機械装置が ある場合の 追加導入の必要性 ※11	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率				補助金額 (A×1/2以内)
1	1			JAOO	○	中畜 太郎			認定	酪農	飼料収穫・調製 用機械装置	ロールベアラー	1	○	-	5,555,555	444,445	6,000,000	1/2	2,777,777 2,777,778	5 (自給飼料の拡 大)	3 (飼料自給率向 上効果)	〇〇%
2	1	1	堆肥舎 H29.1	JAOO	○	中畜 太郎			認定	酪農	堆肥調製散布関 係機械装置	切返作業機	1	○	飼養頭数拡大に対応して 新設する堆肥舎で使用す るため	9,000,000	720,000	9,720,000	1/2	4,500,000 4,860,000	3 (労働負担の軽 減)	1 (コスト削減効 果)	▲〇〇%
3	2				○	〇〇飼料生産 組合			1・2	飼料受託 等	飼料播種・追播 用機械装置	*****	1	○	受託面積拡大(〇〇ha→ 〇〇ha)に伴い、作業能 力向上が必要となるため	*****	*****	*****	1/2	*****	5 (自給飼料の拡 大)	3 (飼料自給率向 上効果)	〇〇%
4	2				○	〇〇飼料生産 組合			1・2	飼料受託 等	飼料調製用機械 装置	*				*****	*****	*****	1/2	*****	5 (自給飼料の拡 大)	3 (飼料自給率向 上効果)	〇〇%
5	1					JAOO	中畜 次郎	〇〇市〇〇町	農協等	肉用牛 (肥育)	家畜飼養管理機 械装置	*				*****	*****	*****	1/2	*****	3 (労働負担の軽 減)	2 (販売額増加効 果)	〇〇%
6	1					JAOO	中畜 次郎	〇〇市〇〇町	農協等	肉用牛 (肥育)	飼料給与関係機 械装置	*				*****	*****	*****	1/2	*****	3 (労働負担の軽 減)	2 (販売額増加効 果)	〇〇%
7	1					JAOO	中畜 三太	△△群〇〇町	農協等	肉用牛 (繁殖)	衛生管理高度化 機械装置	*****	1	○	-	*****	*****	*****	1/2	*****	3 (労働負担の軽 減)	2 (販売額増加効 果)	〇〇%
8	1	3	分娩豚舎 H28.10		△	中畜 花子			新規就農	養豚	家畜飼養管理機 械装置	〇〇機装置一式	1	○	-	*,***,000 *,***千円	***,000 ***千円	*,***,000 *,***千円	1/2	*,***,000 *,***千円	1、3	1 (コスト削減効 果)	▲〇〇%
9																							

機械装置名には「切返作業機：ホイールローダー」等、  
できるだけ具体的な名称を記入ください。  
また、「〇〇一式」等と省略せずに、  
具体的な機械装置名を記入してください。

導入する機械装置に見合った  
成果目標の種類を選択し、  
検証可能な成果目標値を  
設定してください。

同じ取組主体が複数の機械装置を  
導入する場合でも、機械装置ごとに  
優先順位を付してください。  
また、セルの結合は行わず、機械装置ごと  
に必要な事項を記入してください。

プルダウンメ  
ニューから選択

金額は円単位で記載し、  
「千円」「万円」と  
しないでください。

プルダウンメニューから選択  
ただし、クラスター計画の番号を  
複数記入する場合には、  
プルダウンを外して  
直接入力ください。

※1 都道府県の意見を反映した機械装置ごとの優先順位とし、同一順位は不可。このため、セルの変更も不可。  
 ※2 事業区分は1(畜産経営強化支援事業)、2(飼料生産受託組織等経営高度化支援事業)のいずれかの番号を選択。  
 ※3 施設整備との一体性は、機械装置の導入に併せ、当該年度内に畜舎等施設整備を行う場合とし、「活用事業」は1(畜産クラスター事業)、2(他の事業)、3(自己資金)のいずれかの番号を選択。また、「整備内容」に施設名、整備予定年月を記載。  
 ※4 畜産クラスター計画の中心的な経営体に位置づけられている場合は○、同計画を申請中の場合は△を記入。  
 ※5 取組主体の場合にあつては取組主体氏名を、貸付主体の場合にあつては組織名を記入。  
 ※6 認定農業者については「認定」、新規就農者については「新規」、「集団」、「農協等」。飼料生産受託組織等経営高度化支援事業については1(面積拡大)、2(収穫量増加)、3(飼料自給率増加)を選択し、複数選択の場合は1・2、1・3、2・3、1・2・3を選択。  
 ※7 飼養区分は「酪農」、「肉用牛(肥育)」、「肉用牛(繁殖)」、「養豚」、「採卵鶏」、「ブロイラー」、「その他家畜」、「飼料受託等」を選択。複数にまたがる場合には当該機械装置を主に利用するものを選択。なお、「その他家畜」の場合は「優先順位の考え方」欄に飼養畜種がわかるよう記載。  
 ※8 要領別紙2の別表1の区分を記入。  
 ※9 協議会において確認の上、記入。  
 ※10 規模・数量が妥当である場合は○を記入。  
 ※11 既存の機械装置がある場合の追加導入の必要性を記入し、必要に応じて資料を添付する。既存の機械装置がない場合は「-」を記入。  
 ※12 クラスター計画に記載しているテーマのうち、取り組むテーマの番号を記入。(複数の取組を行う場合は、該当する全ての番号を記入すること。)  
 ※13 成果目標の番号(1:コスト削減効果、2:販売額増加効果、3:飼料自給率向上効果)のいずれかを記入。(導入する機械装置により得られる効果と直接的に関連する成果目標を選択すること。)  
 ※14 成果目標値は、定量的かつ検証可能な指標を設定するものとし、増加率(%) = {(事業実施翌年度ー事業実施前年度) / 事業実施前年度} × 100を記載し、経営体ごとの算出根拠を添付すること。